

仕合わせ



第186号

H. 29. 9. 1

(毎月1日発行)

真成寺

開創五百年祭

住職 谷川寛俊

十月二十八日(土)・二十九日(日)

事前祭

十一月三日(金・祝)

前夜祭

十一月四日(土)

本祭

四日間にわたり、真成寺開創五百年の記念祭が開催されますことは、ご存知のことと思います。

三年前より本堂に御案内し、今年に入ってからSNSや、ホームページでの告知。そして当紙面などでもお知らせしてまいりましたが、未だにご存じない檀信徒の方々がいらっしゃる事は大変残念に思います。もちろん檀信徒の中には、我々のお寺が五百年という節目を迎え、誇りに思われている方がいらっしやるのは、本当に有り難く心強い限りです。

十七年前より、来るべき五百年に向けて、更に次の五百年を視野に入れながら、檀信徒の皆様方のご協力を得て、お寺の内外を一新して参りました。お陰様で、ある程度の修復は終わり、次世代に継承したいと考えております。

お寺というのは、次世代に信仰のバトンを渡す「法燈継承(ほうとうけいしよう)」という大切な責任があります。つまり一本のロウソクの火が消えないように、絶やさないように、次の代、又次の代へと受け継がせていかなければならないという役目があるのです。私は現在三十五代目を預らせて頂いています。初代住職より今日まで連続として受け継がれ、それぞれの住職はお寺の為に尽力をされて五百年という歴史を受け継ぎ、守ってこられたものと拝察致しております。

思えば、真成寺の伝統でもある「朝のお勤め」は、夏は五時、冬は六時修行に始まり、一日も休むことなく檀信徒の皆様方の各家先祖代々の御供養ならびに皆様方各家、家内安全・身体健康でありますよう日々お祈りを致しております。

祝 開創500年

「仕合わせの和」

と打ち込んで頂ければ、ホームページにつながります。

編集・発行

玉蓮山 真成寺

編集部 谷川久仁子

TEL・FAX 0765-22-2268

携帯 080-3744-2523

こちらの番号でもお寺につながります。

毎朝、数名の方々が日参(にっさん)

されて、特に毎月一日は、大勢の方々が参詣されますが、宗派の違いが半数近くいらっしやいます。遠くは黒部や滑川からも、敬虔な気持ちで足を運んで下さり頭の下がる思いです。まだ一度もお参りされていない方は、是非一度ご参詣下さいませようお勧め致します。それは理屈ではなく、神仏様へ日々の感謝を申し上げていただくと同時に、自らの罪障消滅(ざいしようしょうめつ)と、何より自分に命を授けて下さった御先祖様への御供養にも繋がるもので御座います。今日生かされている自分に想いを致し、もう一度見つめ直して頂きたく存じます。

自分自身の命を辿る旅。どうぞ開創五百年祭を機会として何卒ご参詣ご協力賜りますよう切にお願い申し上げます。

